

私たち世代は、子育てが生活の基盤となります。子どもにお金も労力もかけながら、生活をしています

1子育て中の世帯に対して、第三子以上の子どもの優遇措置をお願いします。

子ども一人に教育費1千万円以上かかるのも有名な話です。二人、三人と増えていけば掛け算となっていきます。

特に、各学校、入学前後がどんと出費がかかります。

準備品(制服など)だけでかなりの出費です。自分の経験では、中学入学のとき、一人目の子どもだと、なかなか分からなくて、上の子が6年生の夏休みに子どもの同級生の子で兄弟がいる人に色々聞きました。制服準備にこんなにいるの？って感じでした。また、入ってから部活などにかかる費用も個々によって随分違うらしく驚きました。

次に、勉強に対してもすごくお金がかかります。今の学歴社会のなかでは、親として子どもが有名大卒になることをのぞんでいます。成績の優劣が収入に比例することがわかっているからです。塾に行かせ成績を上げることが一般的に行われています。これでは、お金のあるなしで教育の機会が失われることとなります。

こんなにお金も手間もかかることを考えると、子どもを多く育てることが難しい世の中になってると思います。とくに今、平均結婚年齢が女性が28才で、そこからの出産となるとだいたい第二子以降は30才過ぎ、そうなると大学卒業が52才、第三子以降産むならもっと歳とってそれ以上はお金だせるか、不安になると思います。

2男性の育児参加をもっとお願いします

近年、男性の家庭への参加が広がってます。しかし、まだまだだと思っています。人生のイベントとして子育てをしてほしいです。

学校の授業参観会、面接、PTA活動などほとんど女性です。仕事を理由にしていると思いますが、働いている母親でも有給をとって参観会きてます。

こういう時に有給を使うと、自分が病院の時、子どもが病気の時のお休みをとりづらいです。

こういうことが女性の働く環境をつくりづらくしてる一因かもしれません。

市の職員の方からでも積極的に父親の学校参加をお願いしたいと思います。

3 予防・医療の充実を図ってください

健康は財産だと思います。予防医学について、積極的に行政で進めてほしいです。

例えば、**8020**運動になるよう学校でフッ素塗布をお願いしたいです。現在、静岡市の子ども園ではフッ素塗布をしていますが、ほとんど乳歯にしていることとなります。できれば永久歯にしたほうが効果があると思いますが、学校ではフッ素はしないので個人で歯医者に予約していく子だけという状況です。

他には、受験時期に重なるインフルエンザ予防、花粉症対策など家庭内だけでは対策しきれないものがありますので学校内での空気清浄機などの導入検討をお願いしたいです。また、ワクチンの集団接種もお願いします。

また、家族の誰かが病気になるととても大変です。特に女性は**40**歳以上にクーポンで検診を受けられることになってますが検診率はどうでしょうか？自分自身もそうですが、なかなか行くまでに気合がいらいます。多分、自分で予約してのはじめの一步がふみだせないのかもしれないかもしれません。それこそ、学校行事と抱き合わせなどで健康相談、血液検査や便の潜血検査などしたら検診率があがるかもしれません。